



2期生 (法学部/法律学科)

新井 涼香

好奇心、楽観性、柔軟性、冒険心を備えた女



01 生まれと育ち

時の流れに身を任せ

1996年2月8日に京都で生まれました。家族は、母、父、2個下の妹の4人家族です。

よく耳にするような「遊んでいないで、勉強しなさい。」と両親から叱られることもなく自由気ままに過ごしていました。こういった教育方針から中学校の成績はいつも5段階評価中の2が8割を占めています。そういったこともあり、公立の高校に行く気は全くありませんでした。しかし、高校は、「文武両道」を掲げている公立の京都府立山城高等学校に入学しました。入学できたのは、両親が心配して中学校3年生から塾に通わせてくれたおかげだと思ひ、深く感謝しています。そして、高校1年生のクラスで頭のいい親友ができて、勉強をして成績を取ることが快感になっていきました。この時5段階評価中、成績は4が大半を占め、5が3、4個ある状態でした。高校2年生の夏に指定校推薦の存在を知り、大学でもっと多くの人と触れあい知識を増やし、成長したいと強く思い京都産業大学を志望しました。



02 大学生になってからのこと

恩師との出会い

大学では、自ら学びたいものを選択するため、高校までの教育方針であったインプットするだけではなくなり、初めは戸惑いました。「何が面白い授業なのか」右も左も分からない状況でした。しかし、大学2年次の時、キャリア教育科目である「むすびわざオープンプログラム」に出会い、人生は一変しました。そして、そのプログラムを作った東田先生と出会った瞬間、本気で私たち学生に向きあってくれそうな雰囲気を感じ取りました。

実際、受講してみても私の勤は間違っていないませんでした。むしろその勤をはるかに超えていました。例えば、インターンシップ受け入れ先企業になっていただくために、何社も企業様に頭を下げてくれました。こんなにも学生の事を想って行動してくれる先生は他にいません。こんな恩師との出会いが私を徐々に変えていきました。



03

これからのこと

面と向かって話す

長期有給インターンシップでは、小さいことが大きなことに繋がっていることを学んだので就職活動の際にはネットの情報をだけでなく、社員の生の声を直接聞きたいと思ひます。とても時間がかかる事だとは思ひます。しかし、会社にある、理念やビジョンがどう浸透されているのかを確認できるのは、実際に働いている多くの社員の方と話す方法しかないと思ひます。だから、何としてでも50社以上の会社の社員の方とお話しし、相対比較して企業を選びたいと思ひます。



04

長期有給インターンシップ

小事が大事

大きな成果を残すためには、小さなことの積み重ねがないと達成できないと思ひます。私は、ユニクロ・ミーナ京都店へ大学3年次の4月から7月にかけてインターンシップに参加しました。そこでの目標は「店舗の問題を発見しスタッフ全員を巻き込んで解決する」と設定していました。まず私はスタッフを巻き込むためには信頼関係を築く必要があると考え4つのことを徹底して行いました。それは、大きな声で挨拶する、笑顔をやささない、常にメモを取る、必ずお礼を言う事の4つです。

この4つを徹底して行っていたおかげで協力してくださるスタッフがいました。その結果、店舗の課題は解決できたように見えましたが、実際の現場で観察している人がおらず目標は未達成となりました。この失敗から学んだことは「問題解決といった大きな成果を残すためには、小さなことを怠らないこと」です。ここでいう小さなこととは、情報共有や信頼関係を築くことを意味しています。また、目標が達成できなかった原因は、情報共有にあります。たとえ時間が無駄だと思ついても徹底して行うことが成果に繋がると強く感じました。

05

大事にしたいこと

支えてくれた仲間

今まで何度も挫折しそうになったことがありましたが、いつも困っているときに助けてくれるのは仲間でした。例えば、私が悩んでいるときに助言してくれたり、自分の予定よりも私を優先して会いに来てくれたり。この仲間がいなかったら今の自分はないと思ひます。

その仲間たちに恩返しするつもりで、助け合い、時には競争していききたいです。



無知な自分と出会った

20歳

異なる価値観の人が沢山いる中、会話していると自分の知らない世界が教えられるほどあった。

ある友との出会いで、勉強の楽しさを知った

16歳

勉強することで評価される。また知らないことを知ることが楽しくて仕方がなかった。

自己中心的な考えで友を失った

10歳

自分を守るために異質な他者を排除することをした。このころ、友を失って初めて友のありがたみを知った。

プロフィール

1996年2月8日に京都で生まれました。ある友達との出会いで、勉強の楽しさを知り大学に入学しました。そこで異なる価値観の人と交流し、自分の強み、弱みが明らかになりました。強みは対人スキルがずば抜けて高いことです。これは、楽観的に考える性格だからだと考えています。一方で、弱みは、楽観的に考えすぎて、深く考えることをしないところです。この弱みを直すために、毎日ノートを書き「何のために今日その行動をしたのか」を深掘りする習慣をつけています。

先輩・後輩からのメッセージ

清水春也 (1期生)

人に可愛がられるのが上手な後輩ですね。積極的に話しかけられるだけじゃなくて、本人なりに頭を使って、距離を詰めていくところは真似したくても簡単にはできない、と思わせられます。頭が弱いのがたまに傷ですが、それも愛嬌として許してしまえる気がします。

中村浩基 (3期生)

人一倍の笑顔で明るく接してくださる新井先輩、例えるなら良心の塊！2期生全員を愛し3期生全員を可愛がる、周囲のすべてを変えてしまう、新井先輩を心より尊敬しております。